

令和8年度 岩見沢市施策評価シート

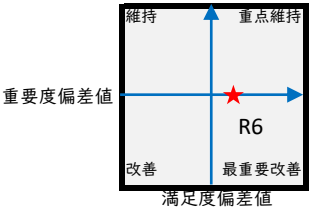
基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果	
基本施策	1	子ども・子育て支援の充実		
	結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。			
担当課	こども未来課、学校教育課、指導室、生涯教育課、図書館			



【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (R3⇒R6)
満足度	17.7	17.3	16.1	13位/32施策⇒13位/32施策
重要度	0.493	0.508	0.589	17位/32施策⇒8位/32施策
改善度	2.97	-2.19	4.08	20位/32施策⇒11位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2024年調査：-30.68～21.78】

【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	評価
出生数	428人 (H29)	↗	出生届が提出された子どもの人数	300人	305人	271人	271人	C
子育てに関する相談件数	489件 (H28)	↗	えみふる構成部門が連携して対応した子育てに関する相談件数 R7～子育てに関する相談件数	196件	205件	1,626件	852件	C
子育て支援事業の利用親子組数	1,458組 (H28)	↗	子育て支援事業に参加した親子の数 (延人数)	563組	622組	560組	555組	C
乳幼児健康診査受診率	96.3% (H28)	↗	乳幼児健康診査対象児のうち、受診者の占める割合	97.8%	98.4%	98.5%	98.7%	A
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年値ともに向上 A:現状値より低下したが昨年値より向上 B:現状値及び昨年値とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年値より低下 現状値より低下したが、昨年値とほぼ同数 D:現状値及び昨年値ともに低下				成果指標評価		2.5		B

分析	・市民意識調査における「満足度」は相対的に中程度にあり、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は比較的高く、これまで以上に施策を推進が求められる。また、年齢区分別では、49歳以下の満足度は一定程度あるものの、30代・60代・70代の不満の割合が上昇している。 ・R7年度の不妊・不育症治療費助成制度利用者のうち、43人が妊娠届を提出し、26人が出産に至った。加えて19人がR8年度に出産を予定しており、少子化対策としての効果は期待できるが、出生数の改善には至っていない。出生数の回復は、晩婚・晩産化や養育費等の経済面における不安、若年層の転出超過など、様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 ・こども家庭センターが設置されたことにより、えみふる構成部門において連携対応していた子育て相談や支援が一元化された。 ・子育て支援事業の利用親子組数は、少子化や早期就園の増加などから現状値を大きく下回っているが、ここ数年は横ばいの状況。 ・乳幼児健診は、各健診の案内を個別に通知したことや親自身の意識の高さもあり、高い受診率を維持している。
----	--

取組と成果	・妊産婦やこども、子育て世帯への一体的な相談支援を行うため、子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）、子育て総合支援センター、子ども発達支援センターを統合した「こども家庭センター」を設置した。 ・各健診において支援が必要な親や児のスクリーニングを実施し、また、他職種とも協力しながら支援をすることができた。未受診者に対して引き続き状況確認をするとともに勧奨を行っていく。 ・子育て支援事業にあっては、子育て中の家庭が、悩みや不安の解消と気軽に相談できる環境づくりの推進の観点から、事業を運営している。 ・ファミリー・サポート・センター事業については、会員数、援助活動に大幅な減少は見られず、一定のニーズがあったほか、病児・病後児保育についてもファミリー・サポート・センター事業で併せて実施し、保護者の子育てで就労の両立を支援した。 ・こどもの医療費の無償化を高校生年代まで拡充することにより、子育て世帯の経済的な負担軽減を図り、こどもの健康増進に寄与した。
-------	---

現況と課題	・子育て家庭の不安やストレスを軽減し、拠りどころの機能として、3歳以下の子どもをもつ家庭が気軽に遊びや相談ができる環境として、地域親子ひろばや地域子育て支援センターなどの環境維持や行事等の推進に取り組んでいく必要がある。 ・すこやか健康手帳アプリや、子ども・子育てポータルサイトを活用し、子ども・子育て関連施策等の情報発信を強化する。
今後の方向性	・乳幼児健診の未受診者については受診勧奨を行うとともに引き続き心身の状況、家庭環境の把握に努める。 ・えみふるの核施設であるあそびの広場の利用が、各部門の相談支援のきっかけとなることから、市内利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに取り組んでいく。また、あそびの広場での教室事業等の自主事業の充実により、市内利用者のリピート率の向上を図る。

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
子ども家庭センター事業 【こども未来課】	・家庭児童相談対応 1,536件 ・個別ケース検討会議 37回 ・子育て支援事業 常設型子育て親子ひろば”ひなたっ子”利用者数 9,237人 親子支援講座等 555組 1,149人 子育て相談 852人 ・こども発達支援事業 発達相談 728件 通級指導 380人	A	A	A
障害児等支援事業 【こども未来課】	・障害児通所支援利用者数(1か月当たり利用者数) 児童発達支援 132人、放課後等デイサービス 316人、保育所等訪問支援 1人	A	A	A
子ども医療費助成事業 【こども未来課】	・助成件数 就学前児童 R4:34,315件 R5:40,179件 R6:34,058件 R7:29,869件 小学生 R4:31,987件 R5:36,747件 R6:36,234件 R7:32,216件 中学生 R4:19件 R5:5,202件 R6:14,495件 R7:14,150件 高校生 R5:5,007件 R6:14,786件 R7:14,623件 所得超過 R6 1,481件 R7:4,629件	A	A	A
ひとり親家庭支援事業 【こども未来課】	・母子・父子自立支援員相談対応件数 延べ219件 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金 1件 ・高等職業訓練促進給付金 6件 ・高等職業訓練修了支援給付金 4件 ・高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金 0件	B	A	A
不妊・不育症治療費助成事業 【こども未来課】	・生殖補助医療費助成 65件 (助成額6,524,498円) ・一般不妊治療費助成 53件 (助成額2,588,170円) ・先進不妊治療費助成 39件 (助成額1,119,468円) ・不育症治療費助成 1件 (助成額 100,000円)	A	A	A
母子保健推進事業 【こども未来課】	・母子手帳交付数270人 ・プレママ教室受講数28人 ・パパママ教室受講数108人 ・乳幼児健康診査受診数1,350人 ・フッ素塗布受診数216人 ・新生児聴覚検査受診数249人 ・股関節脱臼検査受診数250人 ・産後ケア利用数55人 ・訪問指導数652人 ・健康教育人数174人 ・健康相談人数1,130人	A	A	A
出産・子育て応援事業 【こども未来課】	・伴走型相談支援 1,674件 ・妊婦のための支援給付(1回目) 277件 13,850,000円 ・妊婦のための支援給付(2回目) 318件 15,900,000円	A	A	A
こども・子育て応援事業 【こども未来課】	・産前産後ヘルパー事業 登録67名、利用338回 ・子育て短期支援事業 利用延日数11日 ・子育て支援夜間養護等事業 利用延日数2日 ・こどもサポートセンター「いま、ここ」が運営するファミリーサポートはおはおに業務委託し実施。 援助活動件数446件、依頼会員330名、提供会員66名 ・保育サービス講習会を6月に開催	A	A	A
あそびの広場運営事業 【こども未来課】	・来場者数 市内 17,936人 市外 39,873人 団体利用者 1,545人 計59,354人	A	A	A

児童厚生施設運営事業 【学校教育課】	・来館者数 111,951人 内訳(幼児596人 小学生102,934人 中学生1,322人 高校生391人 大人6,708人) ・児童館等地域見守り事業(おはようキッズ事業) 登録者745人	A	A	A
青少年育成事業 【生涯教育課】	・少年の主張岩見沢大会 中学校8校 11人 ・子ども発明工夫展 小学校8校 13人 ・炭鉄港ツアー 17人 自然体験教室 13人 ・地域子ども会ドッジボール大会 中止 ・子ども書初大会 52人 ・子どもかるた大会 3チーム	B	B	B
放課後児童健全育成事業 【学校教育課】	・児童館のほか、公共施設や小学校、地域施設等の計20カ所において、放課後児童クラブを設置し運営した。 ・小学校1年生までから6年生までの登録児童数(R8.3月末現在) 1,182人	A	A	A
保育所入所運営事業 【こども未来課】	保育所:公立1(定員90人)法人立11(定員780人)、認定こども園:公立1(定員60人)法人立2(定員177人)、小規模保育所:私立4(定員76人) 計19施設(定員1,183人) 第3子以降保育料無料化に加え、第2子保育料無料化(同時入所の場合)に取り組むとともに、保育所を利用するすべての家庭の負担軽減のため、保育料の減額・細分化を実施。	A	A	A
栗沢認定こども園運営事業 【こども未来課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育所、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。 定員:1号認定15人、2号3号認定45人。 入園状況:1号認定1人、2号3号認定33人(R7.4.1現在)	A	A	B
病児保育運営事業 【こども未来課】	病気の回復期に至らない子を専門施設で保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援。 登録児童数(R8.3月末現在):109人 利用児童延べ人数(R8.3月末現在):病児保育188人	A	A	B
保育・教育人材確保事業 【こども未来課】	保育士又は幼稚園教諭の人材を確保するために必要な経費の一部について補助を実施。 交付実績(R7):保育所3園、計7人分 幼稚園2園、計2人分	B	B	B
幼稚園入所運営事業 【こども未来課】	幼稚園:法人立2(定員225人)、認定こども園:法人立3(定員300人)計5施設(定員525人) 令和元年10月から、子ども・子育て支援法の改正により満3歳から5歳までのすべてのこどもの保育料が無償となった。	A	A	A
ブックスタート事業 【図書館】	・令和8年3月までのブックスタートパックの贈呈数 267組(配布率99.3%) ・3歳未満乳幼児への読み聞かせ会「ベビカフェ」開催 年3回 ・絵本の読み聞かせ 本館 月3回、来夢21 月1回、北村学習交流館 月1回	A	A	A
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価		3.8 A

(単位:千円)

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			R5実績	R6実績	R7実績
1	子ども医療費助成事業 【こども未来課】	こどもの健康増進、子育て世帯の経済的負担の軽減のため、こどもの医療費の助成を北海道の基準に加えて、市独自施策として拡充して実施。	217,245 (2.0人)	268,309 (2.0人)	252,581 (2.0人)
			231,645	282,909	267,781
2	ひとり親家庭支援事業 【こども未来課】	ひとり親からの各種相談に対して、母子・父子自立支援員による適切な助言指導を行う。また、就業支援、経済的支援策として母子家庭等自立支援給付金事業の給付を実施し、ひとり親家庭の経済的・精神的自立の促進を図る。	16,345 (0.0人)	19,524 (0.0人)	9,172 (0.0人)
			16,345	19,524	9,172
3	児童手当等給付事業 【こども未来課】	家庭生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成のため、ひとり親家庭の生活の安定と自立、児童福祉の増進のため、児童手当及び児童扶養手当を支給するとともに、経済的困難を抱える妊産婦について、助産施設入所に係る費用を負担し援護する。	1,091,913 (3.0人)	1,187,600 (3.0人)	1,399,603 (2.0人)
			1,113,513	1,209,500	1,414,803

4	こども家庭センター事業 【こども未来課】	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体化した「こども家庭センター」を設置し、母子保健や児童福祉における、妊産婦や子ども・子育て世帯への一体的な相談支援体制の充実・強化を図る。		19,985 (0.0人) 19,985	44,407 (8.0人) 105,207
5	こども・子育て応援事業 【こども未来課】	岩見沢市こども計画(令和7年度～令和11年度)に基づき、各こども・子育て支援に関する事業の進捗状況を定期的に点検・評価することにより、子育て短期支援事業などの各種支援施策の総合的な取組みを進める。	12,196 (2.0人) 26,596	12,709 (2.0人) 27,309	13,688 (2.0人) 28,888
6	子育て総合支援センター事業 【こども未来課】	こども家庭センターを中心に子育てに関する相談・助言等や親子の交流事業を実施するほか、子ども発達支援センター事業、児童福祉に関する相談、要保護児童対策地域協議会を開催する等、関係機関と連携を図りながら、総合的な子育て支援を行う。	23,238 (4.0人) 52,038	23,709 (3.0人) 45,609	
7	あそびの広場運営事業 【こども未来課】	こどもの成長に応じた安全な遊び場を提供し、こどもの心身の発達を促すとともに、市民に安心して子育てをすることができる環境及びこどもを中心とした交流の場を提供する。	33,426 (1.0人) 40,626	32,408 (1.0人) 39,708	32,260 (1.0人) 39,860
8	不妊・不育症治療費助成事業 【こども未来課】	赤ちゃんを望む夫婦に経済的負担の大きい不妊症及び不育症の治療費の一部を助成し、安心して妊娠、出産できるよう支援する。	6,912 (0.0人) 6,912	9,543 (0.0人) 9,543	10,332 (0.0人) 10,332
9	ふれあい子どもセンター運営事業 【こども未来課】	市内に認可保育所等は22か所あり、唯一の公立保育所として、保育を必要とする児童に特別保育事業を取り入れながら保育を行う。	46,210 (2.0人) 60,610	51,073 (2.0人) 65,673	51,211 (2.0人) 66,411
10	栗沢認定こども園運営事業 【こども未来課】	認定こども園を栗沢地域に開設。幼稚園と保育所、両方の機能を兼ね備え、両方の良さを活かした施設で、保護者がライフスタイルに合わせて利用。定員：1号認定15人、2号3号認定45人。	68,202 (0.0人) 68,202	67,338 (0.0人) 67,338	60,508 (0.0人) 60,508
11	保育所入所運営事業 【こども未来課】	市内11か所の法人立保育園、2か所の法人立認定こども園、4か所の地域型保育事業に係る保育所入所運営費の負担。法人立保育園の整備振興を図るため、借入れた整備資金の当該年度中に支払いを要する元金及び利子に対し予算の範囲内で補助金を交付する。障害児保育、障害児保育特別対策、延長保育、休日保育、一時預かり保育の実施。	1,593,643 (3.0人) 1,615,243	1,738,882 (3.0人) 1,760,782	1,762,278 (3.0人) 1,785,078
12	特別保育所運営事業 【こども未来課】	へき地の保育に欠ける児童に対し、必要な保護を行うため、へき地保育所を運営する。岩見沢市へき地保育所条例に基づく運営～北村中央保育所、北村幌達布保育所、美流渡保育所	36,104 (1.0人) 43,304	36,083 (1.0人) 43,383	33,508 (1.0人) 41,108
13	病児保育運営事業 【こども未来課】	【病児保育】児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育する事業。《実施場所：岩見沢市立病児保育施設》	12,050 (0.0人) 12,050	12,414 (0.0人) 12,414	12,723 (0.0人) 12,723
14	子育て施設等利用給付事業 【こども未来課】	幼児教育・保育の無償化に伴い認可外保育施設等を利用する保護者に対して、施設等利用費の負担をする。	20,003 (0.0人) 20,003	21,458 (0.0人) 21,458	18,097 (0.0人) 18,097
15	保育・教育人材確保事業 【こども未来課】	岩見沢市への就職をすすめるため、保育士、幼稚園教諭に対して就職準備金を支給し、人材の確保と幼児教育・保育の質の維持向上を図る。	1,000 (0.0人) 1,000	1,600 (0.0人) 1,600	900 (0.0人) 900
16	児童厚生施設運営事業 【学校教育課】	地域の子育て支援拠点として、児童に健全な遊びを提供し、心とからだの健康を育むことができるよう、市内13児童館等の運営を行う。保護者の就労を支援するため、早朝の見守りが必要な留守家庭児童を受け入れる「おはようキッズ事業」を実施する。	73,761 (1.0人) 80,961	82,278 (1.0人) 89,578	77,288 (1.0人) 84,888
17	母子保健推進事業 【こども未来課】	妊婦から乳幼児期までの母子の健康管理と異常の早期発見並びに健全育成のため、健康診査、健康教育、家庭訪問等を実施。	34,216 (5.5人) 73,816	31,363 (5.0人) 67,863	33,712 (6.0人) 79,312
18	幼稚園入所運営事業 【こども未来課】	市内5か所の私立幼稚園及び市外3か所の私立幼稚園(岩見沢市の児童)に係る幼稚園入所運営費の負担。在園児のための幼稚園終了後の預かり保育の実施。	488,141 (1.0人) 495,341	504,704 (1.0人) 512,004	521,623 (1.0人) 529,223

19	青少年対策事業 【指導室】	青少年を取りまく環境(ネット社会、家庭環境、地域の教育力)の変化に対応し、学校・保護者・地域と連携した「街頭補導・見守り活動」「ネット関連情報の啓発及び学習機会の提供」等により、青少年の健全な育成を図る。	7,656 (0.0人) 7,656	8,078 (1.0人) 15,378	8,336 (0.2人) 9,856
20	青少年育成事業 【生涯教育課】	青少年が健全な思考や判断力を持ち、将来自らの意思で自立し、社会参加していくことができるよう各種事業を通じて健全育成を図る。	3,277 (1.0人) 10,477	4,551 (0.6人) 8,931	3,416 (0.6人) 7,976
21	放課後児童健全育成事業 【学校教育課】	児童館をはじめ、小学校や地域施設等21か所で放課後児童クラブを設置運営し、小学校1年生から6年生までの留守家庭児童の健全育成を図る。	180,177 (1.0人) 187,377	147,116 (1.0人) 154,416	140,529 (1.0人) 148,129
22	ブックスタート事業 【図書館】	全ての赤ちゃんへ絵本等のブックスタートパックを贈るほか、読み聞かせや絵本の紹介などのフォローアップ事業を行い、乳幼児と保護者の情操を育む。	1,182 (1.0人) 8,382	1,109 (1.0人) 8,409	1,015 (1.0人) 8,615
23	障害児等支援事業 【こども未来課】	障がい児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスを提供し、福祉の増進を図る。			676,841 (1.0人) 684,441

【外部評価意見】	
----------	--

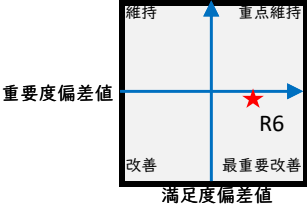
令和8年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価 結果	
基本施策	2	学校教育の充実		
	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。			
担当課	学校教育課、指導室、学校給食課、緑陵高等学校			

【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (R3⇒R6)
満足度	20.4	18.3	15.4	10位/32施策⇒16位/32施策
重要度	0.527	0.531	0.627	9位/32施策⇒4位/32施策
改善度	4.68	0.14	10.06	17位/32施策⇒6位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2024年調査：-30.68～21.78】

【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	評価
全国学力・学習状況調査の平均正答率（小・中学校別）	※1 (H29)	↗	全国学力・学習状況調査の平均正答率	※6	※8	※10	※12	D
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価（小・中学校別）	※2 (H29)	↗	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合評価のC以上の割合	※7	※9	※11	※13	C
不登校の児童生徒の割合（小・中学校別）	※3 (H28)	↘	在籍児童生徒のうち、明確な理由がなく年間30日以上欠席した児童生徒の割合	小 1.7% 中 7.5%	小 2.0% 中 8.4%	小 1.7% 中 7.3%	小 2.1% 中 5.9%	A
※1:小～国語 A75%・算数 A79%・B46%、 ※1:中～国語 A77%・B72%・数学 A67%・B49% ※2:小(男 67.8%・女 70.3%)、中(男 56.3%・女 70.4%) ※3:小 0.3% 中 2.5% ※4:小～国語63%・算数68% 中～国語66%・数学59% ※5:小(男 60.7%・女73.8%)、中(男 65.0%・女 74.7%)			※6:小～国語66%・算数63% 中～国語69%・数学51% ※7:小(男 63.1%・女67.1%)、中(男 62.4%・女 74.1%) ※8:小～国語64%・算数61% 中～国語69%・数学52% ※9:小(男 60.2%・女63.2%)、中(男 60.2%・女 70.1%) ※10:小～国語65%・算数58% 中～国語56%・数学51% ※11:小(男 65.0%・女67.2%)、中(男 57.2%・女 68.7%) ※12:小～国語63%・算数55% 中～国語55%・数学48% ※13:小(男 65.3%・女66.4%)、中(男 61.3%・女 65.1%)					
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年値ともに向上 A:現状値より低下したが昨年値より向上 B:現状値及び昨年値とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年値より低下 現状値より低下したが、昨年値とほぼ同数 D:現状値及び昨年値ともに低下				成果指標評価		2.3		B

分析	・市民意識調査における「満足度」は相対的に中程度であり、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は高く、重点的に施策を推進していく必要がある。また、年齢区分別では、49歳以下の満足度は一定程度あるものの、どの年齢層でも不満の割合が比較的高い傾向にある。 ・全国学力・学習状況調査において、小学校及び中学校のすべての教科で昨年度よりも低下した。また、全教科で全国平均を下回っており、児童生徒の資質・能力の確実な定着に向けた授業改善が喫緊の課題である。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、小学校及び中学校の男子は、昨年度よりも高かったものの、女子は昨年度よりも低下した。どの校種においても、運動の楽しさや喜びを味わえる体育の授業や日常的に運動に親しむ活動等を推進していく必要がある。 ・不登校の児童生徒の割合において、外部講師を招聘し子どもたちが安心して学べる学習集団づくりに関する研修会を、年10日間実施したことにより、教職員の児童生徒観の転換が図られ昨年度より低下した。
----	--

取組と成果	・学力については、市立教育研究所による分析・考察を経て、すべての学校で「身に付ける資質・能力を明確にし、子どもとの対話により、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業」を展開し、「主体的・対話的で深い学び」を通した確かな学力の追求が進められた。 ・体力については、教育研究所による分析・考察を経て、各校の体育の授業の改善が進められた。また、体育専科教員による巡回指導を行い、体育科の授業の質的向上を図った。さらに、希望した学校については、北海道教育大学岩見沢校の教授等による出前授業を行い、児童生徒の運動への興味関心を高めるとともに、専門性の高い指導を展開することができた。 ・不登校児童生徒の割合について、全国的には上昇傾向にあるものの、本市では、低下傾向にあるとともに全国を平均を下回った。 ・小学校低学年の不登校児童を対象とした「遊ぼう・楽しもうプロジェクト」を地域の方からの支援をうけ実施し、登校支援室で運動や創作活動に取り組んだ。 ・猛暑対策として小学校234室、中学校116室、義務教育学校16室、緑陵高校21室の普通教室等にエアコンを設置することができ、熱中症により病院へ搬送する生徒がいなくなり生徒の健康の安全を確保することができた。
-------	--

現況と課題	- 子どもたちの確実な資質・能力の向上のため、教師の教科等分析力の向上や子どもの主体性を促すファシリテート力を磨くこと、自校の課題を踏まえ「個別最適な学び」と「協働的な学び」を具体化する指導課程を確立すること、子どもたちの学習スキルの向上と学習ルールの徹底を図っていく必要がある。 - 運動の楽しさや喜びが味わえる体育の授業の実現、外部の専門家等と連携した出前授業等の実施による教師の指導力の向上、家庭・地域と連携した運動やスポーツの奨励と運動習慣の形成等をより一層、充実させていく必要がある。 - 今年度も、不登校児童生徒の割合が減少したものの、喫緊の課題であることに変わりはない。学校へ行けない理由は、家庭環境も含め多様化・複雑化しており、子どもが抱える課題に応じ、寄り添った丁寧な対応が必要である。そのため、教育支援センターや登校支援室等における専門職の充実など適切な支援を提供できる体制の整備が求められる。
今後の方向性	- 学力については、子どもを主人公にした誰一人取り残さない学びの実現を図るため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、教師主導から学習者主体による授業の質的転換を目指す。そのため、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、身につける資質・能力を明確にし、子どもが「学ぶことの楽しさ」や「伸びることの喜び」を実感できる授業実践を行う。 - 体力については、年間を通じて縄跳びやマラソン等に取り組む活動を企画し、日常的に運動に親しむ活動を確保していく。また、体育専科教員等による効果的な指導方法等についての発信の場を設け、市内教職員における体育科の指導改善につなげていく。 - 岩見沢市ピア・サポート研修を継続して実施するとともに、研修内容を自校及び市内全体に還元・共有し、子どもが安心して学ぶことができる学習集団の育成を図っていく。 - 教育支援センター及び登校支援室の役割として、学校訪問等を通じて、不登校になる前の児童生徒へのカウンセリングの充実や、SSWと連携したアウトリーチの強化を進める。

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
特別支援教育推進事業 【指導室】	- 学校現場において、市内小中学校に29名の特別支援教育支援員と1名の学校看護師を配置し、個に応じたきめ細かい指導を行った。 - 特別支援コーディネーターや特別支援教育支援員を対象とした研修会を開催し、各校の取組の交流や教育支援センター及び北海道立特別支援センターの職員による講話等を行い、特別支援教育への理解を深めた。	A	A	A
コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	- 各CAの代表者が一堂に集う、学校運営協議会代表者会議を年2回開催した。各中学校区の取組の成果と課題の交流を通じて、自校区の取組の向上につなげた。 - 学校と地域の方とともに、登校時の見守り運動、防災訓練、お祭りの企画・運営、ゴミ拾い、ふるさと教育等を行い、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の具現化が行われた。	A	A	B
外国語指導助手活用事業 【指導室】	- 市内小中学校及び緑陵高校にALT9名配置 - 中学校区でできるだけ同じALTが担当できるよう、検討し再配置を行った。	B	A	B
教育支援センター事業 【指導室】	- 教育支援センターへの相談件数は1,055件あり、多様化・複雑化する相談に専門的な知見のもと対応した。 - 不登校状態にある小学生を対象とした企画を実施し、運動や創作活動に取り組んだ。 - 登校支援室来室者47名に支援を行った。そのうち、中学3年生16名のうち14名が高校への進学を果たした。	A	A	A
学力向上対策事業 【指導室】	- OKスタディは市内中学生752名参加、英検学習会は3級対策26名、4級対策42名が参加した。テキストの無料配布や時期を限定した講習会形式に変更したことにより、受講者が大幅に増加し、多くの生徒の基礎学力の向上や英語検定の取得を支援した。 - 土曜キッズ英会話を全10回実施し、延べ256名の参加があった。	A	A	A
教育研究所運営事業 【指導室】	- 全国学力・学習状況調査をはじめとした、4つの調査の分析を行い、全校へ指導・助言した。 4つの研究部会を開設し、今日的な教育課題の解決を図る研究・指定事業の推進を行い、その成果を全校へ発信した。 - 市内教職員を対象とした12の講座を開催し、課題・対策の共有を通じ資質向上を図った。	B	A	B
学校給食共同調理所運営事業 【学校給食課】	市内小・中学校及び義務教育学校22校に997,278食を提供	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価 3.6 A		

(単位:千円)

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			R5実績	R6実績	R7実績
1	教育委員会運営事業 【学校教育課】	・教育委員会を開催し、教育行政方針の設定や重要案件の審議を行う。 ・教育委員会委員、教育長を対象とする各種会議に参加することにより、情報等を収集し、広域的な教育行政の推進を図る。	4,251 (1.5人) 15,051	4,077 (2.0人) 18,677	4,275 (1.0人) 11,875
2	教育委員会事務局管理事業 【学校教育課】	・教育委員会事務局の管理運営及び教育振興功労並びに教育実践奨励賞及び教育実践児童生徒優秀賞の表彰を行う。 ・PTA連合会事務局や岩見沢育英会など教育関係団体への補助を実施 ・通学区域審議会による審議をもとに小中学校適正配置計画(後期計画)を策定	7,917 (1.5人) 18,717	8,012 (2.0人) 22,612	7,484 (2.0人) 15,200
	学校教育施設空調設備整備事業 【学校教育課】	・夏季の猛暑により児童・生徒が熱中症などの重大な健康被害に陥ることを防止し、快適で安全安心な学習環境を確保するため、小・中学校の普通教室等に空調設備(エアコン)を設置する。		521,395 (0.0人) 521,395	
3	教育情報システム化推進事業 【学校教育課/指導室】	高度情報通信ネットワーク社会に適応できる人材の育成を図るとともに、多様で高度な市民ニーズに応えるため、ICTを活用した教育の情報化を推進する。	15,344 (1.6人) 26,864	4,702 (1.6人) 16,382	3,249 (0.1人) 4,009
4	ICT教育推進事業 【学校教育課/指導室】	ICTを活用した授業づくりを推進し、協働的な学びと個々の理解にあわせた個別最適な学びの充実を図るため、GIGAスクール構想に基づく一人一台の端末及びデジタル教科書を有効活用し、効果的な授業の実施に向け、ICTを活用した教育を推進する。	83,429 (0.5人) 87,029	84,214 (0.5人) 87,864	77,789 (1.0人) 85,389
5	教職員住宅管理事業 【学校教育課】	教職員住宅の維持管理。適時に修繕・補修を行い、教職員へ良質な住環境を提供することにより、教育の充実を図る。	18,308 (0.8人) 24,068	300 (0.8人) 6,140	11,242 (0.8人) 17,322
	学び・心はぐくむ学校活動支援事業 【指導室】	子どもが輝く岩見沢の教育づくりを推進するため、学力向上に関する取り組みや農業などの体験活動など、各学校が創意工夫のもとで企画立案する活動及び各学校における地域ボランティアと連携した活動を支援する。	7,919 (0.3人) 10,079		
6	特別支援教育推進事業 【指導室】	心身に障がいを持つ児童生徒及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と社会参加に向けた、適切な就学支援を行う。	50,995 (2.4人) 68,275	59,723 (0.4人) 62,643	63,036 (0.4人) 66,076
7	特別支援教育振興事業 【学校教育課】	障がいを持つ子供達にそれぞれの障がいに応じた教育環境を整備するとともに、学用品費等の支援を行い、特別支援教育の普及奨励を図る。	14,665 (0.2人) 16,105	14,724 (0.2人) 16,184	15,488 (0.2人) 17,008
8	教育指導振興事業 【指導室】	新しい時代を拓く児童生徒の生きて働く学力の確実な定着及び心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図り、「子どもが輝めく岩見沢の教育づくり」を推進する。	6,027 (0.6人) 10,347	7,199 (0.6人) 11,579	6,866 (0.6人) 11,426
9	コミュニティ・スクール促進事業 【指導室】	市内中学校区におけるコミュニティ・スクールの活性化を図る。	1,338 (1.0人) 8,538	4,617 (1.2人) 13,377	4,877 (1.2人) 13,997
10	外国語指導助手活用事業 【指導室】	英語を使える児童生徒の育成を目指し、語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、外国語教育及び国際理解教育の充実を図る。	40,872 (0.6人) 45,192	42,064 (0.6人) 46,444	42,749 (0.6人) 47,309

11	教育支援センター事業 【指導室】	教育支援コーディネーターを相談窓口とし、関係機関と連携しながら、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、スーパーバイザー、医療アドバイザーによる教育相談や、登校支援指導員による登校支援を行い、児童生徒、保護者、学校等を支援する。	17,993 (0.5人) 21,593	19,342 (0.5人) 22,992	22,812 (0.6人) 27,372
12	学力向上対策事業 【指導室】	子どもたちが自らの可能性を開花させ、人間として豊かな成長を遂げ、自己実現を図る確かな学力の定着を目指して、OKスタディ、土曜キッズ英会話を実施する。	2,995 (0.1人) 3,715	4,274 (0.2人) 5,734	4,332 (0.2人) 5,852
13	教育研究所運営事業 【指導室】	岩見沢市における教育上の諸課題を的確に把握し、その進歩改善のための調査・研究等の推進と充実に努める。 また、市民開放、地域・大学との連携事業の拠点として事業を推進する。	20,583 (0.4人) 23,463	17,655 (0.4人) 20,575	17,830 (0.4人) 20,870
14	小学校管理事業 【学校教育課】	児童が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることができる教育環境づくりを推進する。	290,408 (2.2人) 306,248	332,894 (2.2人) 348,954	306,145 (2.2人) 322,865
15	小学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	36,043 (0.5人) 39,643	34,429 (0.5人) 38,079	33,684 (0.5人) 37,484
16	スクールバス運行管理事業 【学校教育課】	遠距離通学となる児童生徒の通学支援及び登下校の安全確保のためのスクールバスの運行を行なう。	88,058 (0.3人) 90,218	90,243 (0.7人) 95,353	88,185 (0.7人) 93,505
17	小学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、小学校における義務教育の円滑な実施に資する。	18,218 (0.7人) 23,258	14,876 (0.7人) 19,986	13,908 (0.7人) 19,228
18	児童健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、児童の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	17,756 (0.5人) 21,356	17,877 (0.3人) 20,067	17,490 (0.3人) 19,770
19	小学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、小学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	3,582 (0.2人) 5,022	3,851 (0.2人) 5,311	3,830 (0.2人) 5,350
20	小学校校舎等管理事業 【学校教育課】	小学校の施設整備、維持管理、補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実に努める。	229,438 (1.6人) 240,958	54,436 (1.6人) 66,116	61,453 (1.6人) 73,613
21	中学校管理事業 【学校教育課】	・生徒が安全で安心できる環境の中で、学力と豊かな人間性を育てることができる教育環境づくりを推進する。 ・部活動の地域移行を見据えた改革を進める。	240,600 (2.5人) 258,600	239,192 (2.5人) 257,442	235,189 (2.5人) 254,189
22	中学校教育用コンピュータ整備事業 【学校教育課】	次世代を担う子どもたちが、初等教育段階からICTに触れ、情報活用能力を向上させることができるよう、情報教育に係る環境整備を行う。	21,397 (0.5人) 24,997	19,306 (0.5人) 22,956	20,037 (0.5人) 23,837
23	中学校就学援助事業 【学校教育課】	経済的理由によって就学困難な児童に学用品等の援助を行い、中学校における義務教育の円滑な実施に資する。	23,131 (0.7人) 28,171	21,902 (0.7人) 27,012	20,456 (0.7人) 25,776
24	生徒健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、生徒の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	10,029 (0.5人) 13,629	10,021 (0.3人) 12,211	9,754 (0.3人) 12,034
25	中学校教職員健康管理事業 【学校教育課】	学校保健安全法に基づき、中学校における健康管理及び安全管理を進め、教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施に努める。	2,240 (0.2人) 3,680	2,522 (0.2人) 3,982	2,400 (0.2人) 3,920
26	中学校校舎等管理事業 【学校教育課】	中学校の施設設備の維持管理。補修・修繕、計画的な設備の更新、グラウンド整備などを行う。施設の安全確保を第一に、教育環境の充実に努める。	68,672 (1.6人) 80,192	35,681 (1.6人) 47,361	45,934 (1.6人) 58,094

27	学校給食共同調理所 運営事業 【学校給食課】	衛生管理の徹底などにより安全・安心な給食を市内小・中学校及び義務教育学校22校に年間190回を基準として提供するとともに、児童生徒に対する食指導を実施。	646,755 (4.8人) 681,315	655,483 (4.8人) 690,523	680,394 (4.8人) 716,874
28	学校給食共同調理所 車両運行管理事業 【学校給食課】	新学校給食共同調理所から市内小・中学校及び義務教育学校22校に給食を配送する配送車の運行管理を行う。	49,586 (0.2人) 51,026	56,906 (0.2人) 58,366	49,457 (0.2人) 50,977
29	特別会計高等学校費 【緑陵高等学校】	地域社会のニーズに応えるとともに、次代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備に努めるとともに、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図る。 また、質の高い教育環境を維持し、特色ある教育活動を円滑に実施するために必要な教材教具の整備を図る。	157,420 (47.0人) 607,174	136,277 (47.0人) 604,267	175,840 (48.0人) 666,631

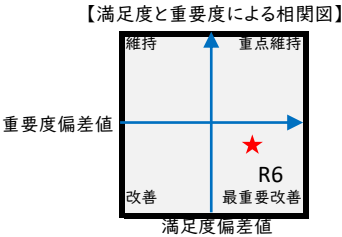
【外部評価意見】	
----------	--

令和8年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価 結果	
基本施策	3	生涯学習の振興と社会教育の充実		
	市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。			
担当課	生涯教育課、図書館			

【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (R3⇒R6)
満足度	17.7	15.4	12.8	17位/32施策⇒19位/32施策
重要度	0.482	0.528	0.618	10位/32施策⇒5位/32施策
改善度	1.94	2.49	11.10	13位/32施策⇒5位/32施策



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2024年調査：-30.68～21.78】

【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	評価
市民大学及び高齢者講座の参加者数	270人 (H28)	↗	市民大学及び高齢者講座を受講した人の 実数の合計	108人	468人	401人	262人	D
生涯学習センター「いわなび」 利用者数	128,144人 (H28)	↗	生涯学習センター「いわなび」を利用し た人の合計	81,895人	91,834人	101,111人	90,727人	D
市民1人当たりの図書貸出冊数	4.78冊 (H28)	↗	本館等の4図書施設における市民1人当 たりの年間貸出冊数(個人+団体)	3.99冊	4.11冊	4.02冊	3.32冊※	C
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 A:現状値より低下したが昨年度より向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数 D:現状値及び昨年度ともに低下				成果指標評価		1.3		C

※R7中本館改修工事の影響で4か月休館していたため補正→4.36冊相当となり、評価をCとする。

分析	・市民意識調査における「満足度」は相対的に中程度にあり、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は高く、重点的に施策を推進していく必要がある。また、年齢区分別では、24歳以下の満足度が比較的高い傾向にある。 ・いわみざわ市民大学は全6回開催し、R6と比較して受講の平均年齢63歳から70歳へと上昇しており、就労世代の取り込みが課題である。また、高齢者対象講座は北村地区では申込がなく開催を見送った一方、栗沢地区ではオンライン配信により実施するなど柔軟な対応が図られている。昨年度比で76人減少しており、背景には公共交通機関の縮小や受講者の後期高齢化が考えられる。 ・生涯学習センターの利用者は個人利用は増加している一方、団体利用は減少しており、背景には定期サークルの高齢化による解散や公共交通機関の縮小等の影響が考えられる。 ・図書館は本館の改修工事に伴う休館期間中に臨時窓口を開設し一部サービスを実施したが、来館者数は昨年度と比較し減少、それに伴い利用者数及び貸出冊数も減少している。本館再開後の来館者数等は昨年並みへと復調が見られた。 【R6年度 図書館平均貸出冊数】全国:4.77冊、北海道:3.68冊、岩見沢市:3.80冊 ※個人貸出のみ（学校等への団体貸出を除く）
----	---

取組と成果	・いわみざわ市民大学【6回、（延べ人数:113人）】、高齢者対象講座【10回、（延べ人数:149人）】 ・生涯学習センターにおいては、施設を利用するサークルや団体、講座受講者などが日頃の活動成果を発表・体験提供するいわなびまつりやロビーを活用し開催される無料の音楽イベントとしてロビーコンサートを実施している。 ・図書館では、市民の多様なニーズに基づき計画的な蔵書整備を行うとともに、司書職員の専門性向上と地域サービス拠点の充実のほか、SNSなどの情報提供により利便性の向上を図った。また、ボランティアや市民団体、関係機関と連携し読書活動の促進や学習支援を図るなど、様々な取り組みを行った。
-------	--

現況と課題	・急激な社会情勢の変化に伴う市民の学習に対するニーズの多様化。 ・勤労者層（30代～50代）の学習活動・団体活動離れ。 ・図書館利用者のニーズや利用形態の変化に合わせたサービスの提供体制の充実。
-------	--

今後の方向性	・多様化するニーズを把握するとともに、オンラインも含めた参加しやすい学習環境づくりを進め、市民が主体的に学ぶ学習機会の充実を図る。 ・図書資料の充実や、他の図書館と連携し、様々なサービスの提供に努めるほか、多様化する市民ニーズを踏まえ、利便性向上の取り組みを継続し、貸出冊数を維持する。
--------	---

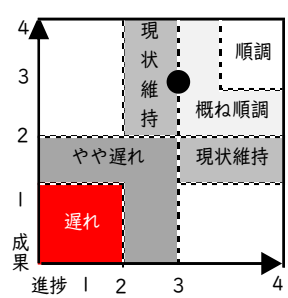
事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
市民の学び支援事業 【生涯教育課】	生涯学習センターを拠点に、幅広い世代を対象として学習機会の充実を図った。いわみざわチャレンジスクールと高齢者対象講座、市民大学は前年度と比較して減少となった。 ・いわみざわチャレンジスクール:20回、延べ人数:196人 ・いわみざわ市民大学:6回66人(延べ人数:113人) ・高齢者対象講座:10回、38人(延べ人数:149人) ※一部オンライン開催による柔軟な対応:栗沢地区3回、19人 ・みんなで教育を考える日:1回、29人	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価 3.0 B		

		(単位:千円)		
事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む) R5実績	R6実績	R7実績
1 社会教育委員活動事業 【生涯教育課】	岩見沢市社会教育委員の会議は、本市の社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるため、岩見沢市社会教育委員条例の規定に基づき設置されている。委員の定数は15名で、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。任期は令和8年3月31日までの2年間で、現委員は15名(うち2名は市民公募)。	396 (0.5人) 3,996	728 (0.5人) 4,378	623 (0.5人) 4,423
2 市民の学び支援事業 【生涯教育課】	生涯学習センター「いわなび」を拠点に、生涯学習の情報発信、相談体制、指導者育成の強化に努める他、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に学習機会の充実を図るとともに、学習成果を生かせる場の提供に努め、市民の学習活動を支援する。	7,085 (3.0人) 28,685	7,642 (1.5人) 18,592	4,664 (1.5人) 16,064
3 社会教育施設管理事業 【生涯教育課】	社会教育施設整備事業～社会教育施設の利活用を検証し、施設規模や利用形態から適切な施設運営と利用者負担を検討する。 指定管理者制度導入事業～市民ニーズの効率的、効果的な対応と行政コストの縮減のため、施設の管理・運営の形態として指定管理者制度の導入の適否を検討する。	163,416 (0.0人) 163,416	545 (0.0人) 545	2,304 (0.1人) 3,064
4 北村環境改善センター運営事業 【生涯教育課】	住民のコミュニティ活動を推進し、地域住民の文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図るため、改善センターを設置し維持管理を行う。	14,743 (0.0人) 14,743	15,915 (0.0人) 15,915	15,040 (0.2人) 16,560
5 北村学習交流館運営事業 【図書館】	地域住民の学習活動を支援する拠点施設として、図書資料を提供し学習活動及び読書活動を支援する。	2,085 (0.0人) 2,085	2,358 (0.0人) 2,358	2,493 (0.0人) 2,493
北村ふるさと学習館運営事業 【生涯教育課】	R6.4.1廃止	2,002 (0.2人) 3,442		
6 郷土科学館管理事業 【生涯教育課】	教育、科学及び文化の発展に寄与する施設として、郷土資料の収集・展示やプラネタリウムの番組提供と科学等に関する事業を通し、郷土理解や青少年の科学する心を育むとともに、関係機関と連携したパネル展など、社会的ニーズを把握しながら生涯学習の機会を提供する。	27,224 (0.7人) 32,264	24,771 (1.0人) 32,071	24,451 (1.0人) 32,051
7 来夢21施設管理事業 【図書館】	図書館、資料館、こども館からなる複合施設の管理を行うことにより、地域住民の文化振興と子どもの健全育成及び学習活動を支援する。	11,736 (0.0人) 11,736	10,938 (0.0人) 10,938	10,098 (0.0人) 10,098
8 生涯学習センター管理事業 【生涯教育課】	子どもから高齢者まで、市民の生涯にわたる学習を支援する場として、施設を維持管理する。	92,097 (0.2人) 93,537	93,886 (0.1人) 94,616	93,379 (0.2人) 94,899
9 図書館活動運営事業 【図書館】	市内4館の図書資料の収集・管理と利便性の高いサービスの提供に努め、子どもの読書活動の推進と幅広い世代に対応した読書普及活動を実施するとともに、市立図書館の計画的な整備を図る。	98,224 (6.0人) 141,424	96,208 (5.0人) 132,708	188,000 (4.0人) 218,400

【外部評価意見】	
----------	--

令和8年度 岩見沢市施策評価シート

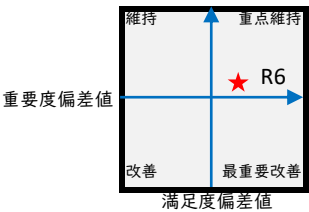
基本目標	4	豊かな心と生きる力をはぐくむまち	評価結果
基本施策	4	芸術文化・スポーツの振興	
		市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。 また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。 さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。	
担当課	企画室、生涯教育課		



【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R6 (2024)	順位 (R3⇒R6)
満足度	21.6	20.6	17.8	8位/32施策⇒10位/32施策
重要度	0.451	0.484	0.590	25位/32施策⇒7位/32施策
改善度	-4.33	-8.68	2.75	26位/32施策⇒16位/32施策

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2024年調査:-30.68～21.78]

【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	評価
「市民の文化祭」の参加者数	9,175人 (H28)	↗	市民の文化祭」に出品・出演した人及び 来場した人の合計	2,663	3,537人	5,168人	5,223人	A
資料館及び指定文化財の利用 者数	6,239人 (H28)	↗	資料館及び指定文化財を見学及び利用 した人の合計	5,328人	5,334人	6,088人	6,693人	A
「スポーツの日」記念岩見沢市 総合体育大会の参加者数	2,692人 (H28)	↗	総合体育大会で各競技に参加した人の 合計	2,974.0	2,550人	2,951人	2,327人	D
教育大との連携事業数	新規	↗	北海道教育大学岩見沢校と市との連携 事業数	11	14	12	11	C
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年値ともに向上 A:現状値より低下したが昨年値より向上 B:現状値及び昨年値とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年値より低下 現状値より低下したが、昨年値とほぼ同数 D:現状値及び昨年値ともに低下				成果指標評価		2.8		A

※資料館:郷土科学館、来夢21、北村環境改善センター郷土資料コーナー(北村の記憶)、指定文化財:旧国兼家住宅

分析	・市民意識調査における「満足度」は相対的に高く、本施策に対する満足度との関係性を示す「重要度」は上位に位置している。改善度は比較的高く、引き続き施策を推進していく必要がある。また、年齢区分別では、24歳以下の満足度が高い傾向にある。 ・「市民の文化祭」の参加者数はR6年度より子ども文化祭の展示部門と合同で開催したことにより昨年度と比較して増加しているが、コロナ前の水準ほどには回復していない。 ・教育大との連携事業については、新型コロナウイルス感染症の5種移行に伴い、イベント等事業開催が再開されたことにより、実施数が増加した。
取組と成果	・舞台、音楽、伝統文化などの出来る限り幅広いジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、幅広い世代における市民の文化活動の促進と地域文化の振興を図ることができた。 ・運動・スポーツの習慣化を図るため実施した「スポチャレ」(スポーツ庁補助事業)をはじめ、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」の開催、各種スポーツ団体や全国大会、強化指定選手等の活動の支援を行うなど、運動やスポーツの日常化につなげることができた。 ・教育大との連携事業については、複数年にわたって連携している事業もあり、庁内においても教育大の特色を活かした連携事業についての検討機会が増えた。 【R7連携実績】いわみざわアートアカデミー、いわみざわチャレンジスクール、楽しいキッズスポーツ教室、岩見沢ビジネスチャレンジプロジェクト、アダプテッド・スポーツ体験デジタルスポーツ体験など
現況と課題	・芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、市民の生活に潤いをもたらすものであり、優れた芸術文化に触れる機会の提供や情報発信、市民が気軽に活動できるような環境整備などを引き続き行っていく必要がある。 ・企画展の回数は昨年同様だが、来場者数は増加傾向にあり、交流や活躍の機会の創出につながるため、今後もi-BOX活動をサポートすることにより、市内における芸術文化の普及促進や地域と学生との結びつきの強化を図っていく。 ・スポーツ行事の内容によって、参加する世代に偏りが見られることから、より幅広い世代が参加する、各種スポーツ行事の開催や活動の支援が必要である。

今後の方向性	・今後も芸術・文化・郷土資料の鑑賞機会の提供に加え、自主的な文化活動の促進も図っていく。 ・30代～50代の子育て世代を中心に幅広い世代を取り込むことのできる運動・スポーツ習慣化事業をはじめ、各種スポーツ行事の開催や活動への補助により、生涯スポーツの振興を目指す。 ・教育大学の連携のもと施策を展開し、当市における貴重な地域資源である大学の価値を高めるとともに、i-BOXを中心に市内全域をフィールドとして、芸術文化・スポーツに触れられる豊かな環境づくりを進めるほか、学生と地域との交流により、学生が地域への関心や愛着を高め、卒業後の定住や将来のUターンを促進する素地を醸成する。
--------	---

事務事業名		事業の実績	評価		
			達成度	有効性	効率性
教育大学連携事業	【企画室】	(企画推進事業のうち北海道教育大学との連携事業「i-BOX」) 北海道教育大学岩見沢校と連携して、複合駅舎内に市民と学生の活動情報拠点「i-BOX」を設置し、i-BOX及びi-BOX以外(森の間ホールやmorinova等)での学生や教員による美術展等を開催するとともに、情報発信を行った。 令和7年度 企画展23回 来場者 3,372人 (令和6年度 企画展23回 来場者3,189人) (令和5年度 企画展22回 来場者2,810人) (令和4年度 企画展25回 来場者2,671人)	B	B	B
地域文化振興事業	【生涯教育課】	・そらち太鼓フェスティバル、札幌交響楽団による「まなみーるDEクラシック」、岩見沢にゆかりのあるアーティストによる「マチの記憶ライブ」の3事業を実施した。 ・また、令和元年度より、文学の普及発展を図ることを目的として、氷室冴子青春文学賞に対する支援として補助金交付を行っている。	B	B	B
健康・スポーツ振興事業	【生涯教育課】	・楽しいキッズスポーツ教室(全6回:参加者延べ397人) ・全国大会等出場奨励金(個人98人・8団体) ・市民歩け歩け大会(全2回:参加者延べ40人) ・全道大会・全国大会開催補助(7件) ・スポチャレ(全5回:参加者延べ1,492人)※スポーツ庁補助事業	B	B	B
東山・岡山地区スポーツ施設運営事業	【生涯教育課】	東山公園庭球場の利便性の向上を図るため、コート面の再整備(全8面のオムニコート化)を行った。	B	B	B
芸術文化・スポーツ交流創出事業	【生涯教育課】	交流・関係人口の創出や拡大、地域資料や芸術作品の展示、イベントなどの利活用を通じ、住民相互の交流や地域の活性化につなげるため、旧美流渡中学校校舎を消防法等に適合するよう改修を実施し、地域特性である芸術文化を核とした交流拠点施設としての整備を行った。また、令和8年度の供用開始に向け、市内東部丘陵地域の住民らでつくる市民団体「みる・とーぶプロジェクト」の実行委員会メンバーと検討を重ねた。 R7来場者数:開館実績なし、R6来場者数:2,688人、R5来場者数:5,812人(試験利用)	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり			事業評価		3.0 B

事務事業名		事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			R5実績	R6実績	R7実績
1	教育大学連携事業	(企画推進事業のうち教育大学分)	3,008	6,447	5,530
	【企画室】	i-BOXの運営など、地域に開かれた大学を実現するとともに、市民と学生の交流活動を促進する。	(0.5人)	(0.5人)	(0.5人)
			6,608	10,097	9,330
2	絵画ホール運営事業	岩見沢市における美術の振興を図るため、収蔵している松島正幸氏の絵画の常設展示をするとともに、岩見沢市にゆかりのある美術家の作品の収集・保管・展示さらに教育普及活動や企画展示等を行い、将来を見通した特色ある運営に努める。	10,536	9,061	9,491
	【生涯教育課】		(0.0人)	(0.1人)	(0.1人)
			10,536	9,791	10,251

	栗沢工芸館管理事業 【生涯教育課】	R4.4.1休止 R8.3.31廃止	785 (0.2人) 2,225	670 (0.0人) 670	
3	市民会館文化センター管理事業 【生涯教育課】	市民の文化教養の向上と、市民福祉の増進や教育の振興を図る目的のため、生涯学習活動に対する多様なニーズに対応した活動の場を提供する。	112,978 (0.0人) 112,978	469,590 (0.4人) 472,510	109,317 (0.4人) 112,357
4	野外音楽堂管理事業 【生涯教育課】	薫り高い芸術・文化を創造・発信し、市民が芸術文化を享受する地域文化を推進するため、野外音楽堂の施設環境の充実を図り、来場者が快適な環境で芸術文化を享受できるよう管理運営を行う。	21,001 (0.0人) 21,001	20,901 (0.1人) 21,631	21,488 (0.1人) 22,248
5	地域文化振興事業 【生涯教育課】	個性豊かな市民文化の創造に向けて、自主的な文化活動が多彩に繰り広げられ、身近に芸術・文化にふれあう機会を拡大するとともに、歴史や地域性を生かしたまちづくりを進め、うるおいとやすらぎのある文化性の高いまちの環境づくりを推進する。	5,762 (1.0人) 12,962	9,179 (2.0人) 23,779	9,349 (3.0人) 32,149
	文化のまちづくり事業 【生涯教育課】	野外音楽堂や市民会館・文化センターなどを拠点に、舞台、音楽、伝統文化などの多彩なジャンルで優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、市民の文化活動を促進し、地域文化の振興を図る。 R6年度より当事業の補助金を縮小し、地域文化振興事業へ移管	7,500 (1.0人) 14,700		
6	文化財・文化遺産保存管理事業 【生涯教育課】	文化財は、地域の歴史や文化等を正しく理解する上で欠くことのできないものであり、文化の向上発展のため、適切な保存を行う。	5,133 (1.0人) 12,333	4,775 (1.0人) 12,075	4,447 (0.8人) 10,527
7	健康・スポーツ振興事業 【生涯教育課】	市民の誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図るとともに、各種スポーツ団体をはじめ、全国大会等出場やオリンピック・パラリンピックを目指す強化指定選手等の活動を支援する。	10,658 (2.0人) 25,058	18,403 (2.0人) 33,003	16,266 (3.2人) 40,586
8	体育施設管理事業 【生涯教育課】	市民の健康、体力づくりの普及振興を図るため施設の維持管理を行う。	4,477 (0.5人) 8,077	10,354 (0.5人) 14,004	7,005 (0.5人) 10,805
9	スポーツセンター・岩見沢トレーニングセンター運営事業 【生涯教育課】	・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、スポーツセンターの維持管理を行う。 ・市民の基礎体力向上と健康増進を図るための施設であるトレーニングセンターの維持管理を行う。	46,633 (0.0人) 46,633	53,731 (0.3人) 55,921	37,055 (0.3人) 39,335
10	東山・岡山地区スポーツ施設運営事業 【生涯教育課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、東山・岡山地区スポーツ施設の維持管理を行う。	51,808 (0.0人) 51,808	37,338 (0.3人) 39,528	218,504 (0.3人) 220,784
11	鉄北地区スポーツ施設運営事業 【生涯教育課】	・安全で快適なスポーツ環境を提供するため、各スポーツ施設を維持管理を行う。 ・市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、総合体育館の維持管理を行う。	41,011 (0.0人) 41,011	38,846 (0.1人) 39,576	38,574 (0.1人) 39,334
12	温水プール・北村プール運営事業 【生涯教育課】	年間を通じて利用可能な温水プールを管理運営する。手軽なスポーツである水泳を通じ市民の健康づくりを支援する環境を提供する。	51,584 (0.0人) 51,584	47,003 (0.3人) 49,193	37,400 (0.3人) 39,680
13	北村多目的体育館・土里夢公園パークゴルフ場運営事業 【生涯教育課】	市民の健康づくり及び競技スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	21,099 (0.0人) 21,099	21,000 (0.1人) 21,730	21,000 (0.1人) 21,760
14	北村トレーニングセンター運営事業 【生涯教育課】	市民の健康づくり及び協議スポーツの振興と環境整備のため、維持管理を行う。	11,275 (0.0人) 11,275	11,372 (0.1人) 12,102	11,135 (0.1人) 11,895
15	栗沢スポーツ公園運営事業 【生涯教育課】	市民の心身の健全な発達及び体育の普及・振興を図り、快適なスポーツ環境を提供する。	213,805 (0.0人) 213,805	30,348 (0.1人) 31,078	30,348 (0.1人) 31,108

16	芸術文化・スポーツ交流創出事業 【生涯教育課】	地域特性である芸術文化を核とした交流拠点施設として整備し、交流・関係人口の創出や拡大、地域資料や芸術作品の展示、イベントなどの利活用を通じ、住民相互の交流や地域の活性化を図る。	3,322 (0.0人)	11,131 (0.3人)	69,918 (0.6人)
			3,322	13,321	74,478
	開庁140年・市制施行80周年事業 【企画室・生涯教育課】	開庁140年・市制施行80周年の節目を祝う記念事業を実施し、140年の歴史と先人の苦勞を振り返り、未来に向けたまちづくりへの思いを新たにする。	8,767 (0.0人)		
			8,767		

【外部評価意見】	
----------	--